

## タイワンガザミ(メス)の見分け方

昨年、水産研究所に「変わったカニが釣れたのですが、食べることは出来ますか？」と、持ち込みがありました。一目見てタイワンガザミのオスと判断できたので、食べる事が出来るカニだとお伝えしました。

今回の様に、タイワンガザミのオスは、体色も模様も派手なため直ぐに判別可能です(写真1)。しかし、メスについてはどうでしょうか。恥ずかしながら私は、タイワンガザミのメスもオスと同じ模様があり、腹部(ふんどしと言われる部位)だけが異なるだけだろうと思っていました。

先日、小型のガザミの買い取り調査をした際、漁協の組合長が選別し除外していたカニの中にメスのガザミ(らしいカニ)がいたので、私が買い取ろうとすると、組合長から「それは違いますよ。」と、指摘されました。それが、タイワンガザミのメスでした(写真2)。一見すると小型のガザミのように見え、べっ甲色でよく似ていますが、ガザミ(写真3)と比べて観ると形態が少し異なります。文献等で調べると、鋏脚の上腕部分(長節)の棘がタイワンガザミは3つであるのに対し、ガザミは4つであるとのことでした(写真4、5)。そこで、買い取りした258尾のガザミを調べてみたところ、片側の腕だけ棘が3つのものが7尾、2つのものが2尾、5つのものが4尾見つかりました。漁協の組合長も棘を見て選別していたわけではなかったように思います。では、何を基準に違いを判断すれば良いのでしょうか。できれば、組合長のように瞬時に判断できる方法はないのかと思い、ガザミをじっくり観察しました。鋏の大きさや体高など違うようにも見えてましたが、はっきりと分かりませんで

した。しばらく観察しているうちに、ガザミの甲羅には波打った白い文様があるのに対して、タイワンガザミのメスにはないことに気づき、両種は甲羅の文様の有無で見分けることができるのではないかと考えに至りました(写真2、3)。

ガザミなどカニに詳しい人にしてみたら、今更何を言っているのか、との内容かも知れませんが、目から鱗の思いでした。今回の件は、浅学な私の少々恥ずかしい話ではありましたが、今後も、自らの発見と知識の向上に努めていきたいと思う出来事でもありました。

(栽培・資源研究室：岩本)



写真1 タイワンガザミ(♂)



写真2 タイワンガザミ(♀)



写真3 ガザミ(♀)



写真4 台湾ガザミの鋏脚上腕の棘



写真5 ガザミの鋏脚上腕の棘